一誌一句（受贈誌10・11月号他より）

米田　透　抄出

「入院案内」名編集や虫すだく　（秋）　佐怒賀正美

牧牛のまわりに群れて小鳥かな　（陸）　中村　和弘

目の前の島へフェリーが行く秋暑　（やぶれ傘）　大崎　紀夫

高枝をむささびの飛ぶ無月かな　（椎）　村松　二本

本因坊発祥の地へ銀杏の実　（氷室）　尾池　和夫

着水の光こぼせり渡り鳥　（あすか）　野木　桃花

爽やかや姿勢正しき五湖の富士　（湧）　渡井　一峰

天の川巡洋艦が横たわる　（軸）　秋尾　敏

一笛を夜空に放ち秋の能　（あふり）　小沢　真弓

せつかちで秋刀魚焼くのが下手くそで　（濃美）　渡辺　純枝